

**立石議員**

8月5日、村内外の多くの県民が立野ダム中止を求める中、国土交通省は、立野ダム本体工事着工式を行った。

阿蘇の自然を壊し、下流域に危険を及ぼす立野ダムは今からでも中止すべきだ。  
地震で被害をうけた村だからこそ税金の無

駄遣いを許さず、ダムにかける膨大な予算を暮らしや、安全対策に振り向けることを強く求める。

立野ダム事業費は9億17億円となっているが、その後、地震、洪水被害で修復費用がかかっていると思われる。現在9億17億円の6割が使われている。

国交省が言う9億17億円で収まることを信じるのか、信じるのであれば増額した場合、異を唱える決意があるのか。

**村長**

公益性など国で検討し、事業が進められていると理解しており、ダム本体工事などが本格化する中で事業費の影響について精査するとともに、コスト縮減に最大限努めていくと聞いている。

次に、ダムを中止し、ダム以外で安全度を高めるべきとの質問だが、

ダムの3つの放流孔・スクリーン

の設置で流木等により閉鎖することはないと聞いている。

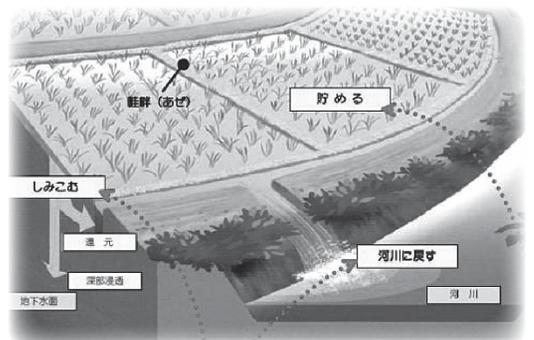
白川の洪水対策は、阿蘇市の遊水地や河川の浚渫、堤防のかさ上げ等の河川改修、立野ダムによる治水効果

**立石議員**

などで下流の洪水被害の軽減が図られると認識している。  
村長は、下流の水害防止のためというが、6年前の白川水害後、河川改修は進んでいる。立野ダム洪水調節能力は毎秒2000m<sup>3</sup>しかない。立野ダムより河川改修、田んぼダムのほうが下流の安全を守ることができる。

**村長**

新潟県で実証されている田んぼダムは、平野部で水田の高低差が



田んぼダムのイメージ

**立石議員**

立野ダム事業費が9億17億円、我が党の試算によると、県の負担は1年間で14億円になる。この財源で

○被災者の医療費免除の復活  
○県下高校生まで医療費無料化  
○教職員の増員も可能になる。

村民の福祉増進を基本任務とする地方自治体の長として、被災者の救援村民の命と暮らしを優先するか、立野ダム建設を優先するか。

**村長**

立野ダムは、人命や財産を守る公共工事と認識している。穴あきダムであり、水質の環境を壊すことはない。

スクリーンが設置されており、流木等が詰まることもなく、危険はない。住民の生命財産を守るができることと認識している。

繰り返しになるが県や下流域の首長・議会がダム建設を望んでおり、従来どおりこれに応えるのが村としての当然の使命だ。

**立石 武博議員**



**Q**

立野ダム建設工事は中止し財源は復興・暮らし・福祉の予算へ

**A**

ダム本体工事が進む中で事業費も精査しコスト縮減に努める



土木研究所の水理実験の様子